【LF-1100R\_Ver.6.0.0 ヘファーム更新できなかった場合の対処方法】

■解決方法:

「auto\_update.sh」を編集し、それを使用することでファームウェア更新可能と なるかお試し願います。 以下に解決手順を記載いたします。

▼手順:

1.

「auto\_update.sh」を、PC内の適当なフォルダに配置します。 (ここでは、Cドライブ直下に保存した前提とします)

# 2.

Linux プログラムにて、以下のコマンドで PC に保存された 「auto\_update.sh」を vi エディタで開く vi /mnt/c/auto\_update.sh (PC 内 C ドライブ直下に「auto\_update.sh」を保存した場合)

★注意:

上記ファイルは、Windows 用アプリケーション「メモ帳」等では開けません。 使用中の PC が Windows の場合は、「Ubuntu on Windows」(※)等の Linux プログラムをご用意ください。

(※)「Ubuntu on Windows」ダウンロード手順は、以下のサイトを参照 https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/wsl/install

3.
 以下を入力し、行数表示する。
 :set nu

4. 362 行目にカーソルを合わせる。

### 5.

以下の操作で、362 行目の動作を読み込まないよう編集する。 [i キー]を押下し、362 行目行頭(msg の左隣)に'#'を挿入。 (# msg\_exit\_with\_rmdir "!!! contact with the Support Section of HAKUSAN Co., please." 41) 6. 以下の操作で、上記「手順 5.」で実施したスクリプトの編集を保存し、 vi エディタを終了する。 [ESC キー]を押下し、':wq'と入力。

## 7.

以下のコマンドで、Linux プログラムを終了する。 exit

### 8.

編集した「auto\_update.sh」を、FTP アプリ等で LF-1100R にバイナリ転送し、 ファームウェア更新できるか試す。

### 9.

ファームウェア更新実施後、「手順 5.」で挿入した'#'を削除し元に戻す。
【上記「'#'を削除する」流れ(Linux プログラムを開いて実施)】
1)vi/mnt/c/auto\_update.sh
2):set nu
3)[i キー]を押下し、362 行目行頭(msg の左隣)の'#'を削除
4)[ESC キー]を押下し、':wq'と入力
5)exit